

令和2事業年度年度

事業報告書

(自 令和 2 年 12 月 1 日 至 令和 3 年 11 月 30 日)

公益財団法人つなぐいのち基金

## <目次>

### 1.令和2事業年度事業の概観

(参照： 「令和2事業年度の事業計画書」における目標の再掲)

- 令和2事業年度の4つのポイント

### 2.公益目的事業（助成事業について）

- 公益事業目的
- 事業の趣旨

#### 助成事業

- 令和2年度助成事業の概要
- 令和2年度 決定助成先
- 参照： 2020事業年度（令和2年事業年度対象事業）の助成先募集の概要

### 3.資金調達について

- 寄付金等 収益の概況
- 令和2事業年度の寄付金内訳
- 賛助会員の募集及び会費収入
- 寄付金
- 今後の資金調達計画について

### 4. 管理運営状況について

- 新型コロナウイルス感染症対応について
- 事業運営会議体の運営状況

# 1. 令和2事業年度事業の概観

## (参照:「令和2事業年度の事業計画書」における目標の再掲)

令和2事業年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかからない中、非対面の財団の事業運営体制構築に務めつつ、公益財団法人移行10周年を迎える2022年12月25日に相応しい事業基盤を確保するために努めて参りました。

具体的には助成先の活動状況の確認や取材を非対面(オンライン)に切り替えることにより、コロナ禍でも実施できる助成先のプログラムに関しては継続的に支援してまいりました。なお、当財団の理事会や評議会などもオンラインで開催できるように体制を整え、滞りない法人運営を務めてまいりました。

なお、公益法人として信頼獲得の組織基盤確保を継続していく中で、冠基金の設定者のご希望を叶える仕組みの拡充や助成対象事業の広報やファンドレイジングの支援による助成事業の充実を図ってまいりました。更に、支援者の要望および要支援者ニーズの再確認のための調査等を実施し、次年度の新規ファンドレイジングや人員計画など、より多くの支援者のニーズに応えられるように総合的な事業計画の準備を推進しています。

## 令和2事業年度の事業計画のポイント

### ◆コロナ禍で順延となっている通常事業の実施

- 助成先取材などをWEB取材方式で実施
- イベント(仮想理事会含む)などをオンライン開催で検討・実施
- 次のステージに向けた、社会的認知の向上と求められる事業に関する調査の実施

### ◆助成事業

- つなぐ助成(通常助成・継続助成)、冠基金助成の合計額 265万円(過去最高額)
- 冠基金(くるくる基金)の助成実施(with, after コロナの子どもたちの、こどもの居場所の支援助成)
- 助成先への共感寄付やイベント開催によるファンドレイジング支援

### ◆公益10周年に向けた新たな事業展開も視野に、助成事業の革新と実績を積み重ね公益の増進に寄与する

- 2022年12月開催を目指す公益10周年記念式典への準備(ミッションの見直し含む)
- 「次代を担う子どもたちへのメッセージ付き寄付」(寄付者からのインタビュー&メッセージ含む)の募集
- 公益目的事業「四 高齢者の福祉の増進を目的とする事業」追加と企業との協働に向けた検討・準備

## ■助成事業スケジュール想定と考え方

2020 事業年度 1Q

令和2事業年度対

象事業 助成金支給

2020 事業年度 2Q

先の公募上記の選

考・継続助成の助成

2020 事業年度 3Q

選定委員会開催

助成事業(使途詳細指定タイプ)の内閣府 公益認定等委員会

事務局への確認助成先支給先の実績報告の取得

2020 事業年度 4Q

支援者・要支援者ニーズの調査・把握

冠基金(助成先指定型)の募集開

始/選考 提供を開始助成先への

事業状況の取材

前期の助成先の決定状況に応じて後期新たな助成プロ

グラムの検討・準備 新事業の検討・準備(変更認定申請)

創立10周年記念イベントの開催

## ■ 令和2事業年度の実績概要 4つのポイント

- ① コロナ禍においても助成金対象事業の選定・支給は計画通り実施できた
- ② コロナ禍により助成先取材など啓発広報活動は全般的に停滞となった
- ③ コロナ禍により実施が困難となっている助成先対象事業の柔軟な変更措置等の対応中
- ④ コロナ対応により助成先取材を含めオンラインによる新たなスキームが構築できた

新型コロナウイルス感染症の影響で、助成金対象事業の選定と支給こそ滞りなく実施できたものの、対面で行われる助成先の事業は全般的に滞り、年度内の実施をあきらめざるを得ない状況となった事業も多くありました。

勿論、コロナ禍による影響は助成金対象事業実行団体にも及ぶもので、原則1年としている事業実施期間の延長対応をはじめ申請計画の変更要請に対して柔軟に対応することとしております。

コロナ終息が見通せない中で、オンライン等活用で可能な事業スキームをより広げていくことが当面の課題です。つきましては、事業活動の報告を以下の通りいたします。

## 2. 公益目的事業(助成事業について)

### ■ 公益事業目的

児童の社会的養護施設や養護施設に入居する児童、難病児、一人親・里親・貧困家庭の児童など、社会的ハンディキャップを抱え、孤立しやすい子どもたちを支援する団体への助成事業

### ■ 事業の趣旨

本事業は、児童養護施設をはじめとした社会的養護施設、又は、社会的養護を必要とする児童を支援する団体(以下、「児童支援団体」とする。)に助成を行うことにより、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

具体的には、家庭での虐待や貧困、親との死別などにより、社会的養護施設に入所せざるを得なくなった0歳から20歳の子供たちや、小児がん等の重度の病気のために、入院での闘病生活を余儀なくされている子供たちを養護するため、このような社会的ハンデを抱える子供たちを支援する団体に対する助成を行い、もって、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

助成については、対象事業をより効果的なものとするため、助成金支給に加え、必要に応じてボランティア等が無償で支援する。

本助成事業は上記の目的実現に資するため、以下の条件を満たす活動を助成の対象とする。

## 助成事業

### ■ 令和2事業年度助成事業の概要

令和2事業年度の助成事業は、

フェーズ	該当団体数	備考
助成申請 仮エントリー	109 団体	仮エントリー数
助成申請 本エントリー	50 団体	本申請の数
調査結果による候補団体	34 団体	財団理念に相応しいか実績等で基礎選考
選考委員会による助成決定団体	10 団体	選考基準に照らし、本年度助成先を選考

### <選考方法について>

「助成事業実施規程」に則り、助成申請のあった団体について、当財団事務局の調査選考担当チームによる調査および基礎選考を実施し、つなぐいのち基金選考委員会に報告しました。

有識者、助成選考実務経験者、学識経験者、専門家等選考委員などの選考委員により構成される助成選定委員会にて審査の実施・内定団体の選出後に理事会による選考結果の承認を経て、助成選定委員会での助成内容の修正点の案内も含めた「助成内定通知書」を助成対象団体に送付し、了承の取得後に助成金の支払いを行いました。

結果、次頁に記載した素晴らしい団体を選考することができました。

## ■ 令和2事業年度 決定助成先

### 【つなぐいのち基金】

【1】



ダイバーシティ工房は千葉県市川市のNPO法人です。

自分が感じている暮らしづらさが自分だけのものじゃないと知り、だれかに相談できる。

心地良い自分でいられる。

そんな場所を暮らしの中につくっています。

- i. 団体名                    特定非営利活動法人ダイバーシティ工房
- ii. 地域                     千葉県
- iii. 活動内容                「なにかあったとき、ふと「相談しよう」と思える場所」を目指して、保育事業(保育園運営)及び学習支援事業(放課後等デイサービス事業を運営)
- iv. Homepage URL        <https://www.diversitykobo.org>

**[2]**

**「特別なニーズを持つ子ども」相談室** ～障害児、病児、妊娠かつとう、産後うつ、もう育てられない～

✉ [shimange@hotmail.com](mailto:shimange@hotmail.com) 24時間いつでも悩んでいることをメールください。お名前は聞きません。無料相談。



当会について About us

お知らせ What's new

「苦悩している産みの親」の方へ Birth parent

子どもSOSの家 (無料養育) Children's Home

住居がなくお困りの親子 (無料住宅) Free Shelter

当会について About us

---

全ての命が神にとっては大切なものです

「愛は家庭から始まります」



あなたがお子さんを愛せますように

- i . 団体名 **障がい児の命を守り愛する会**
- ii . 地域 **北海道**
- iii . 活動内容 **障害児、病児を妊娠、出産した方の育児に関する個別カウンセリングと情報提供、児童相談所の紹介(乳児院、施設、里親など)、養子縁組のご紹介(特別・普通養子縁組)、児童の預かり等**
- iv . Homepage URL **<https://www4.hp-ez.com/hp/savebaby/>**

**[3]**



多文化が未来を拓く  
 埼玉県指定・認定 特定非営利活動法人  
**ふじみの国際交流センター (FICEC)**  
こくさいこうりゅう

✉メールをおくる FICECに行く サイトマップ  
 TEL 049-256-4290 / FAX 049-256-4291  
 生活相談専用(せいかつそうだん) TEL 049-269-6450  
(めでんわ)  
 月曜日から金曜日 10:00~16:00



そうだん  
 咨询  
 상담  
 Counseling  
 Consultas  
 Consultas  
 Pagkonsulta at pagpapayo



にほんごのべんきょう  
 学日語  
 일본어 공부  
 Studying Japanese  
 Estudio de japonés  
 Estudo da lingua japonesa  
 Pag-aaral ng Nihongo



こどものべんきょう  
 孩子的学习  
 어린이 공부  
 School work  
 Estudio de los niños  
 Estudo das crianças  
 Pag-aaral ng mga bata

- i . 団体名 **埼玉県指定・認定特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター**
- ii . 地域 **埼玉県**
- iii . 活動内容 **地域の外国籍の方々への生活支援、日本語指導など、多文化共生の街づくりを目的に活動**
- iv . Homepage URL **<http://www.ficec.jp/>**

【4】



- i. 団体名                    ユナイテッドかながわ
- ii. 地域                     神奈川県
- iii. 活動内容                自然災害被災地への支援活動および地域防災、人材育成、児童支援などに寄与する活動
- iv. Homepage URL         <https://unitedkanagawa.jimdofree.com/>

【5】



- i. 団体名                    cotton~こっとな~
- ii. 地域                     滋賀県
- iii. 活動内容                不登校児童の支援、不登校児童保護者への支援、コミュニケーション運営など
- iv. Homepage URL         <https://nagahamaoyanet.wixsite.com/cotton>

【6】



- i . 団体名                    特定非営利活動法人さぼてんの花
- ii . 地域                      愛知県
- iii . 活動内容                障害児、病児の保育支援のためのデイサービス「ぷんと」&「ころん」を運営
- iv . Homepage URL        <https://www.facebook.com/saboten87pun10>

【7】



- i . 団体名                    特定非営利活動法人フェアスタートサポート ※継続助成
- ii . 地域                      神奈川県
- iii . 活動内容                児童養護施設や里親家庭など「社会的養護」の対象となる子どもたち・若者たちへの、キャリア教育、就業支援、アフターサービスなど
- iv . Homepage URL        <http://fair-start.co.jp/>



## 【くるくる基金(冠基金助成)】

くるくる基金のご紹介 → <https://tsunagu-inochi.org/team-members/kurukuru/>

### 【1】



- i. 団体名                   COCORO ごはん
- ii. 地域                     東京都
- iii. 活動内容               滝野川子ども食堂を運営
- iv. Homepage URL       <https://www.t-kodomosyokudo.com>

### 【2】



森之宮コミュニティ国際交流サロン (もりこくサロン)

@MorikokuSalon55・コミュニティ

✉ メールを送信

- i. 団体名                   森之宮コミュニティ国際交流サロン
- ii. 地域                     大阪府
- iii. 活動内容               地域の子どもたちに英語を教えたり、外国ルーツの方に日本語を教えたり、語学学習を通じて居場所や交流の場を提供している
- iv. Homepage URL       <https://www.facebook.com/MorikokuSalon55>

【3】



- i. 団体名                      特定非営利活動法人 Nature Center Risen
- ii. 地域                         東京都
- iii. 活動内容                 国内外において環境教育、人材育成、教材開発、国際支援、子供の居場所づくりなどを支援
- iv. Homepage URL           <https://www.naturecenter-risen.com/>

## ■ 参照：令和 2 事業年度対象事業の助成先募集の概要

児童福祉に目的とした、社会的ハンデを抱える子どもたちを対象とした支援事業、支援活動、支援プロジェクト等 に対して 助成金(助成総額予定は 2,416,000 円です。)を支給します。

助成金の種類は下記の3種類です。

### ① 通常の「つなぐ助成」

1 団体 10～50 万円 の単年度での助成金を支給します。

事業計画・実施・広報・取材対応・報告など「8.助成金の交付および被助成団体の義務について」を1団体で担っていただくことが前提です。

### ② 継続助成

最大 3 年間で総額 60～120 万円の助成金を支給します。(申請時に簡易ロジックモデルを作成) 1 年間の事業終了毎に「更新申請書」を提出いただき、継続に関する審査を行います。

【募集数】 助成先 3～7 団体 を予定しています。

【募集期間】 2021 年 5 月 8 日(土)～2021 年 6 月 27 日(日) 17:15 まで

【実施時期】 2021 年 10 月から 2023 年 3 月に至る期間に実施されるもの

※ 複数団体でのコレクティブ・インパクトを意識した応募の場合は最大 100 万円となります。

※ 助成金額は1件 30 万円を標準額としますが、実際の支給額は内容等を勘案し決定します。

※継続助成について

継続助成団体は 1 年毎に継続のための審査(選考委員会)をさせていただきます。審査は申請内容に応じ進捗状況や新たな課題の発見などによるものとします。(単に KPI の達成度ではありません)

申請書は「2020 年度対象つなぐ助成応募申請書(簡易ロジックモデル付)」を使用し、1 年単位で継続申請の報告を助成選定委員会で審査の上で決定します。

## 3. 資金調達について

### ■ 寄付金等 収益の概況

令和 2 事業年度の収入は、事業運営資金は理事からとして寄付金、一般の方からの税額控除対象寄付となる「個人寄付」、「マンスリーサポート制度」、「社会貢献物品寄付」などによる寄付などの各ファンドレイジングのメニューを 100%助成事業に繰り入れさせていただきました。

コロナ禍で経済状況悪化を理由とした継続支援の辞退を表明される方もいらっしゃる中、昨年度から新設した「冠基金」の運用を継続しております。今後は助成実績に関する報告書を詳しく整理および作成したうえで、受取寄付額と助成額拡大のためのファンドレイジングの準備に取り掛かる予定です。

### ■ 過去 5 期間の寄付金総額と助成金額の推移

寄附金受入	受取寄附金の内訳					助成金額
	一般の方	助成法人 寄附	冠基金	当財団 理事	合計	年間合計
					(単位：円)	(単位：円)
平成28年4月～平成29年3月 (2016) (2017)	604,177	150,000	0	1,188,500	1,942,677	1,000,000
平成29年4月～平成30年3月 (2017) (2018)	347,754	649,105	0	2,312,000	3,308,859	1,224,391
平成30年4月～平成30年11月 (2018) (2018)	196,100	14,500	0	2,308,000	2,518,600	半年決算につき 翌期に合算
平成30年12月～令和元年11月 (2018) (2019)	313,785	3,366	0	5,372,000	5,689,151	1,327,000
令和元年12月～令和2年11月 (2019) (2020)	188,100	27,000	1,000,000	5,302,000	6,517,100	1,464,400
令和2年12月～令和3年11月 (2020) (2021)	92,900	0	0	5,000,000	5,092,900	2,495,310

### 賛助会員の募集及び会費収入

賛助会員の募集については、サポート企業からも営業支援いただき、冠基金や遺贈寄付にて新たに連携を予定する弁護士・司法書士・税理士等の士業事務所への会員募集を行うこととなっておりましたが、コロナ禍により直接的なご提案の機会を持つことができず、あらたな募集は行うことができませんでした。

また、再開を予定していたライフエンディング会員・一般企業への勧誘も断念しました。

### ■寄付金

【令和2事業年度実績】 寄付総額 5,092,900 円 ※指定正味財産寄付金を除く

マンスリーサポーター(個人月額継続寄付)による寄附金	0 円
一般個人寄付	92,900 円
法人寄付	0 円
冠基金設立金(寄付)	0 円
当財団理事による寄付	5,000,000 円

### ■今後の資金調達計画について

当財団では、令和3事業年度の資金調達に向けて新規参画の人員の調整を進めると共に、寄付募集プラットフォームとの連携を計画しています。具体的には、下記の2つの寄付プラットフォームサービスを活用し、①継続型マンスリー寄付、②PJ型クラウドファンディング、③遺贈寄付募集において、新規プロジェクトを複数立ち上げることで従来より多くの寄付者からの寄付募集することを計画しています。

令和3事業年度において上述した資金の継続調達の基盤を確保し、公益財団移行10周年を迎える2022年12月までには調達資金額を倍増させていく計画を立て、精査しています。なお、ファンドレイジングにおいては、新たに専属の人員を確保し、遅滞なく速やかな実行を予定しています。



## 4. 管理運営状況について

### ■ 新型コロナウイルス感染症対応について

協働する都内高校のオンラインも含めた外部との接触制限により助成先取材活動は停滞し、同時に連携するNPO 法人と共に行う施設等へのボランティア支援も延期といたしました。また、事務所への出所も極力制限し、テレワークによる業務を基本といたしました。

なお、収益経路の増強と運営改善による財務基盤の強化と合わせて、事務職導入、業務執行理事の拡充など、公益法人として社会的に信頼されるためのフィージビリティの確保、公益目的事業における着実な実績、新たな公益事業の領域の拡大と改善を実行するために、当財団の組織体制の強化を推進しております。

### ■ 事業運営会議体の運営状況

当財団の常務理事を務めていた豊住の突然の逝去により、既存業務の継続ための体制整備を行いました。具体的には豊住専務理事の業務を引き継ぎ、複数の関係者が業務を分担及び共有できるようにオンラインでの連絡体制を強化しました。なお、現在の財団運営をより安定的に拡大していくため、令和4年度に向けてファンドレイジングや事業企画に関わる新規人員の調整を完了しています。

なお、上記の対応を進めると共に、従来の評議員会・理事会の開催、常任理事会の開催を予定通り開催しています。

以上